

市内の施設を見てきました

。。。。。。
8月4日、たいへん暑い日でしたが、総務常任委員会で市内のいくつかの施設を見てきました。その概要をお知らせします。
。。。。。。

市民プラザ

最初に訪れたのは、土橋の市民プラザです。旧ジャスコの建物を改造しています。建物の骨組は残っていますが、壁も天井もはがされています。「立て直した方が良かったんじゃないか」という声がありました。その感を強くしました。

小林古径邸

古径邸は、以前にも見たことがあります。ほぼ完成で、現在はアトリ工や事務所建設、周辺の整備をして



いました。細い柱、長い軒先など日本の建物特有の建物ですから、雪対策に惜しげもなく金をかけたようです。

雁木通りプラザ

雁木通りプラザでは、太陽光発電の状況を聞きました。「6月が最高出力。暑さは関係ありません。」との説明には目からウロコ。プラザで使う電力の6%をまかなっているそうです。

ヨードル金谷

昼食は、金谷山下のヨードル金谷です。くわどり湯ったり村の関連施設です。平日でしたが、それなりにぎわっていました。

料金の割りにはボリュームがあること、広い駐車場が魅力でしょうか。

エフエム上越送信所

エフエム上越(76 iMH)のスタジオは、雁木通りプラザにあります。電波は金谷山の男山から発信しています。その施設を見せてもらいました。

災害時でも送信できるように工夫されているそうです。

谷浜海洋森林公園

桑取川の河口に長い栈橋ができてきました。火力発電所の埋め立てに



使う土砂を運び出す施設です。その土取り場、うっそうとした森林が八ヶ山に一変していました。

土を取った跡に、谷浜海洋森林公園が造られることになっています。

側溝改修進む

東本町3丁目

6月に、県土木事務所が実態調査をした東本町3丁目5丁目の県道。7月、その内、東本町3丁目の側溝改修が行われました。「穴があいていたところなどが改修され、みなさん喜んでいきます。」と、東本町3丁目の町内会長さんが、杉本議員に話されました。引き続き、4丁目5丁目の改修を要望して行きます。

9月議会は、9月11日(月)から始まります。

日本共産党上越市議会議員
杉本敏宏
議会だより

2000年8月11日 8
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 24-3787 FAX 24-3832
E-Mail t-sugi@joetsu.ne.jp
http://web.joetsu.ne.jp/t-sugi/

加賀白山 (2702)

2000年7月31日～8月1日

遊歩会の年間行事の一つでメインの白山登山に参加した。

台風6号が、朝鮮半島に沿って北上している。フーン現象の猛暑が日本海側を襲っていた。インターネットの気象状況では石川県と岐阜県境で雨が降っていた。

7月31日(月)

貸切バスで一路、北陸道を石川県へ途中、黒部付近で、劔岳、大日岳。残雪が多い。手取川に沿った道路は、バスかやつの所が残されている。

別当出合。バスのフロントガラスをたたいていた雨粒が、傘が必要なほどになり、バス停の建物に逃げ込む。腹こしらえをして出発。下りてくる人達は雨具を着けている。別当谷にかけられた吊り橋を渡って、樹林の登りにかかる。オオウバユリがそこそこ咲いている。

中飯場、トイレの小屋に水が出ている。柳谷の崩落を抑えるための堰堤工事がやられている。70年代に「ぶし山の会」でここに来た時に、すでにこの工事は始まっていて、それから30年近く

にこの工事は始まっていて、それから30年近く



オオウバユリ

経っているが、工事の進捗は当時とほとんど変わっていない。だいたい山が崩れるのを止めようというところが間違っている。これもムクナな公共事業の一つが。中飯場を出ると、上の方で轟音がする。工事用の重機が走って行ったのだ。1500mを超える所に、舗装こそしてないが、2車線以上の道路が横切っているのだ。ところどころの登山道、砂防新道とは、よくぞつけたものだ。

別当観。別当出合まで眼下に一望できる。みんな雨具を着ているが、一人傘で過ごす。雨はいよいよ止みそうにない。甚之助避難小屋に入る。3間3間の土間に50人を超える人。ギョーギョー詰め。

黒ボコ岩への分岐を過ぎると、道は平坦になり、エーラインの分岐からは、下り気味になる。そして南龍山荘。今日の泊る小屋だ。部屋は番棚式。24人の部屋は女性、一段あけた18人の部屋を男性とする。今時の小屋は乾燥室まである。一段落して、食堂で缶ビール350ccが450円、500ccが550円だから、北アなどよりは余程安い。ビールを飲む陽気



クロユリ

じゃないすなどいいながら、話が弾み、ビールも進む。夕食に飲んだ酒が効いて、そのまま寝こんでしまつ。1時頃だろつか。目がさめたが、雨と風はやんでいなかった。

8月1日(火)

2時半、人の動きに目がさめる。パンなどを食べて、雨ズボンだけ履いて身支度を整える。

真つ暗闇の雨の中を出発する。コースは予定を変更して、エーラインを登ることにする。風だけは止んでくれたので助かる。空が白み、やがて夜が明けける。深い霧に阻まれ、視界は利かない。室堂は、霧の中だった。ヒ

スターセンターを改築中でプレム小屋が立ち並んでいる。その一つ、自炊小屋に雨宿りさせてもらう。みな朝食。その上、ここに荷物を置かせていただいて、御前峰頂上に向かう。社殿のすぐ後ろからクロユリの群落が見事に広がっている。緑の絨毯から突き出ている白い十字のハイケイソウが霧に對抗している。緩い登りだが、シグザグに登っている。イワキギョウの紫がひととき鮮やかだ。またまた風が強くなる。



コバイケイソウ

人、おみくじを買う人、人様々。それでも、最高点には行きたいという衝動を抑えられず、20mほど先の頂上に群がる。しかし、何も見えない。祠前で思い思いの写真を撮り、下山。今度は向かい風だ。難なく、室堂に着く。全員集合の写真を撮り、自炊小屋から荷物を取りだし、下り始める。いつ頃に雨はやまないか、それでも空が心持ち明るくなった感じがする。観光新道を下る予定だったが、雨で滑るだろうと、いつかで黒ボコ岩から砂防新道を下ることにする。

笹原にコバイケイソウがすくと立っているのは壮観だ。イブキトラノオが風に揺れる。テガタチドリが斜面をにぎわしている。メタカラコブが黄色い花をつけ、少し下がるとシナノキンバイの黄色も目立つ。分サンのつくものの個体数が少ないのが気になった。

標高が下がってくると、青空が見え隠れするようになる。樹間に、キヌガサソウやサンカヨブが出始め、オオウバユリの群生地になれば、もつ、別当出合は近い。吊り橋を渡り、石段を登れば、バ停だ。暑い金沢は36度だといつ。早々にバス乗り込み、風呂と昼食が待っている。白峰町の温泉へ急ぐ。入浴し、さっぱりした身体になり、ビールで乾杯。これが最高。やめられないね。」が一致した意見だった。

暑い暑い高田にもどったのは、夕陽が沈みかけた頃だった。